

オリンピック招致の原点

— 『オリムピック関係綴』1952年

前回の東京オリンピック開催は1964年でしたが、そのまた1つ前に当たる1960年大会の開催にも、東京都は立候補していました。このすっかり変色した起案文書こそこの時の招致に関わる最初の公文書です。達筆な署名をしているのは安井誠一郎都知事で、この字は「誠」と書かれています。

注目したいのは起案日で、昭和27年(1952)5月23日とあります。同年4月28日、日本と連合国との間で太平洋戦争開始以来の戦争状態を終結させるため結ばれたサンフランシスコ講和条約が発効してから、1カ月にも満たない中でのオリンピック招致表明でした。

「国際的スポーツマンシップの交換により、世界平和の確立に貢献」と訴える文案からは、独立国家として平和的な国際社会への復帰を希求する思いが伝わってきます。

決裁区分	処理経過	一括処理	旅行上特別取扱
甲	収発 宛先 数 394 号		
	收受 昭和 年 月 日		
	起案 昭和 27 年 5 月 23 日		
	決裁 昭和 年 月 日	総務 文書 調査 279	
	旅行 昭和 年 月 日		
知事	副知事		
総務局長	文書課長	調査係長	
		総務係長	
		文書係長	
1960年国際オリンピック大会の招致懇請電報の発信について			
案			
年 月 日			
Mr. J. S. Edstrom, CIO, Lausanne, Switzerland			
宛			
都知事名			

700万都民を代表し、東京都知事たる私は、東京都議会(第一義)に基き、1960年国際オリンピック大会を東京都に招致いたしたき熱烈なる願を表明する光栄を有するものであります。

東京において開催される予定でありました、12回オリンピック大会が、全世界にわたる不幸な出来事のために中止されたことは、私の衷心より遺憾に思っております。したがって若し本都が、再び大会開催地に選ばる栄譽を蒙らうことができ、かつまた、ここに展開される国際的スポーツマンシップの交換により、世界平和の確立に貢献し得ますならば、これにまさる喜びはございません。尚ほ或る招致御配慮を衷心より期待いたすものであります。

尚ほ或る招致はあらためて提出いたします。

「1960年オリンピック大会の招致懇請電報の発信について」

昭和27年(1952)『オリムピック関係綴』